



下水汚泥を利用した水素ステーションの開発で国土交通大臣賞を受賞！

九州大学水素エネルギー国際研究センターの田島正喜客員教授は、都市の下水を処理する水処理センターで発生するバイオガス（消化ガス）を利用して水素ガスを作り、それを水素ステーションで燃料電池自動車向けに供給する研究を進めてきました。九州大学大学院工学府水素エネルギーシステム専攻日本ガス協会寄附講座の教授として検討・開発したこのコンセプトを、福岡市、三菱化工機株式会社、豊田通商株式会社と連携して、福岡市中部水処理センターでの水素ステーション開設につなげました。

この成果が高く評価され、このたび、本年8月26日（金）開催の内閣府・産官学連携功労者表彰において「国土交通大臣賞」を受賞することが決まりました。都市の再生可能エネルギーを有効利用して究極の低炭素社会である水素社会の構築につなげる画期的な成果であり、都市の下水処理場が燃料電池自動車向けの水素ガスを供給する場になるなど、今後の全国展開が期待されています。



田島正喜客員教授

研究者からひとこと：

九州大学での4年間の研究成果が、このような大きな賞の形になった事は大変うれしく、光栄であると感じています。研究室の運営にご協力頂いた学生諸氏を含め全ての方々に感謝いたします。九州大学が水素関連技術の研究拠点として、名実ともに世界的に認め続けられるよう、これからも研究に精進していく所存です。

水素エネルギー国際研究センター田島正喜客員教授による本成果の詳細は、内閣府ホームページで公開されます。以下のサイトをご覧ください。

【内閣府・産官学連携功労者表彰に関するWEBサイト】

<http://www8.cao.go.jp/cstp/sangakukan/index2.html>

なお、本研究は、B-DASH プロジェクト：下水道革新的技術実証事業（Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）において実証された成果になります。この事業は、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業における低炭素・循環型社会の構築やライフサイクルコスト縮減、浸水対策等を実現するため、平成23年度より国土交通省の国土技術政策総合研究所への委託研究として実施されたものです。

【お問い合わせ】

水素エネルギー国際研究センター

客員教授 田島 正喜

Mail : tajima@rite.or.jp

水素エネルギー国際研究センター長

主幹教授 佐々木 一成

電話：092-802-3143

FAX：092-802-3223

Mail : sasaki@mech.kyushu-u.ac.jp